

ファイバードラムの国内トップメーカー お客様とともに歩み続けた60年

太陽シールパック 株式会社



太陽シールパック株式会社
Taiyo Seal Pack Co., Ltd.



太陽シールパック 株式会社

代表取締役社長：糟谷 雅隆
本社：和歌山市西浜1660-700
設立：1955年(昭和30年)9月8日
従業員数：100名
事業内容：パルプ、紙、紙加工品
(ファイバードラム製造)

主に化学品・医薬品などの粉体を入れる紙製のドラム（ファイバードラム）を国内で初めて量産化に成功。現在は国内トップシェアを誇る太陽シールパック(株)。60年間変わらず愛される製品づくりと、時代のニーズに合わせた新たな挑戦、また、2016年に完成した新本社工場への移転のお話についても伺いました。

創業から現在まで

当社は1955（昭和30）年に設立された国内初のファイバードラムメーカーです。ファイバードラムとは、一言で言えば「省スペース&分別リサイクルが容易」な紙製のドラム缶です。かつて化学品や医薬品の輸出用の包装には木箱やベニヤ製の樽が使われていました。しかし、これらは梱包、開梱するのに手間がかかります。また、時代の流れとして木材資源の節約も重視されてきました。そういった背景もあり、当社の創業者である糟谷光夫（私の祖父）が、援助物資として海外から入ってきた脱脂粉乳の容器にファイバードラムが使用されていることに着目し、日本で初めて量産化に成功しました。事業としてファイバードラムを選んだのは、環境にやさしい（再資源化が可能）こと、軽量で丈夫で使いやすく、そのうえ経済的な容器であり、今後、鉄ドラムや木箱に代わる製品になると感じたからだそうです。

しかし、60年前の研究開始当初は、製造するための機械や、原料となる紙、鉄、接着材など、全てがゼロからの挑戦でしたので、製品化までの苦労は並々ならぬものがあつたと聞いています。しかし、苦労の末、開発に成功し、その後も少しずつ製品や製造技術の改良を加え続けていることで、ファイバードラムは開発当初と大きくかたちを変えることなく、お客様にご使用

いただいております。60年という長期間にわたって、形状がほとんど変わらない製品を使い続けていただくというのは、工業製品としては大変珍しいことであり、同時に大変ありがたいことだと感じています。

全てはお客様のために

当社の事業領域であるファイバードラムなどの産業用包装資材は、お客様が製品を出荷する際には必ず必要になります。しかし、それ以外の時には必要ないというのが特徴です。

当社は、お客様の「必要な時にすぐに欲しい」という要望に対応できるように、お客様のできるだけ近くで製造するために各地に工場を建設しました。現在では和歌山工場以外に、神奈川、新潟、香川、山口と、5拠点を製造し、できるだけ短い納期でお客様に納品できる体制をとっています。

また、お客様によって要求される内容は異なります。例えば、大きい容量で運びたいものや小さい容量で運びたいもの、水分を含むと固まるもの、金属に触れると困るものなど、多岐にわたります。これらのニーズに応えることが大変重要で、ファイバードラムをご提案する時もあれば、時には鉄製のドラム缶など他の包装資材をご提案することもあります。お客様の状況を理解して、それに応じた製品をご提案することが当社の存在価値だと考えています。

◆昨年8月に新たに建設された本社・和歌山工場の様子をご紹介します



2016年8月に移転した新しい本社・和歌山工場。本社・工場・技術の一体化、より安全に、効率的に、快適に働く環境を目指し、レイアウトなど至るところに工夫を凝らした。



製造現場では女性も活躍。現在4名の女性社員が働いている。とても熱心で、丁寧な仕事ぶり。



職場全体のコミュニケーションを図るということコンセプトとした事務所。社長室はガラス張り、中での会議の様子も見られるようになっている。

和歌山工場移転の話

旧本社・和歌山工場は1955年の会社設立以来稼働している工場で、一部では老朽化が進んでいたこと、本社と工場が公道で分断されるなど、様々な不都合があり移転先を検討していました。そこに、近隣の工業団地のお話があり、60周年を迎える2015年に本社移転の決定をしました。

新本社・和歌山工場には当社60年間のノウハウを注ぎ込みました。より安全に、より確実に、効率的に、より快適に仕事に取り組むための環境を目指し、社員とも話し合い、以下のようなところに工夫を凝らしました。

○新本社・和歌山工場の改善点

- ・耐震強度、火災対策強化
- ・バリアフリー化（エレベータ・リフトの設置）
- ・工場の柱、段差を減らし、レイアウトの自由度アップ
- ・設備修繕の効率化
- ・作業環境の改善（工場内のエアコンの設置など）
- ・虫等の混入予防
- ・出荷作業の効率化
- ・コミュニケーション向上
- ・事務所座席のフリーアドレス化
- ・一堂に集まることができる食堂
- ・工場内を一望できるスペース
- ・商品展示スペースの設置

新本社・和歌山工場では社員全員が生き生きと働いているように感じます。この移転を、今後70周年、80周年に向けた当社の飛躍のきっかけにし、お客様との関係強化、新しいお客様との関係構築をさらに進めていきたいと考えています。

新製品開発への挑戦

Aドラム®の開発

当社で近年伸びているのがAドラムと呼ばれる製品です。従来のSタイプのファイバードラムは上下に金属製の補強リングが付いていましたが、分別リサイクルしやすいようにというお客様のご要望に対応し、胴体部分が全て紙製の同商品を開発しました。強度を維持しながら製缶する技術は他社に真似できないオンリーワンの技術です。発売以来、年々生産本数を伸ばしており、2011年には「平成23年度 文部科学大臣表彰科学技術賞」を受賞しました。



全社一体での経営

スタートして数十年になりますが、毎年欠かさず、6～7月に1回、全国の拠点から全社員が集まり、経営方針発表会を開催し、私から社員へ来期の経営方針を説明しています。会社の状況や今後の方針を、社長である私が社員に向かって直接説明する、当社にとって最も大切な行事です。

その際、社員には「経営方針書」を渡します。これは毎年私が作成しており、その内容にもとづいて各部署の方針も作成されます。4年前からは、この経営方針書を手帳のような形にして、スケジュールや仕事のTODOリストなども載せるようにしました。自分自身のスケジュールや業務が、経営方針と一体となって管理されるよう狙ったものです。社員にとって手放せない一冊となるよう、会社全体の予定や社員の誕生日なども記載しています。



経営方針書の説明をする糟谷社長



若い社員も多く活躍している。



「尽道楽生」の書は、創業者夫人 糟谷ふじゑ氏の揮毫によるもの。

誰もが活躍できる職場へ

当社では、高校を卒業し入社される方が多く、その後の社内でのキャリアアップは様々です。工場で主任、工場長と責任が増えていく社員もいれば、営業になる社員、技術力を高めて技術部門に異動する社員など、工場出身者が多くの部門で活躍しています。やはり、主力製品であるファイバードラムについて多くの知識を持つ工場出身者は、どの部門にいても活躍できる基礎ができています。

ただし、知識や技術があっても、他の人との協調性がなければ、組織の中で能力を十分に発揮することはできません。当社が求めるのは、心身ともに健康で、明るく素直な人です。明るく素直であるということは、表面的な人付き合いがうまくいくだけでなく、人から様々なことを教えてもらえる機会に恵まれやすく、非常に重要な要素です。新しい仕事や自分がやりたい仕事を獲得し、キャリアアップを目指していってもらいたいです。

また、ここ数年は現場で新卒の女性が増えてきています。以前から、事務関係の仕事は女性も多かったのですが、工場の仕事は男性のものというイメージが強かったらしく、女性からの応募がなかったのです。そんな中、5年前に新潟の北日本工場で新卒の女性からの応募があり採用したところ、男性と変わらず非常にしっかりと仕事をしてくれました。それがきっかけになって、新卒社員の募集の際にも積極的にPRするようになったところ、女性

の応募も徐々に増え、現在では全国にある5カ所の工場すべてで新卒入社の女性社員が頑張ってくれています。

各種の運搬具の導入を進め、重量物の運搬も体力面の負担を減らし、安全に作業ができるように改善を進めています。今後はますます女性も活躍しやすい職場にしていきます。

環境整備の徹底による 社員の意識改革

毎日、始業時刻の8時30分から20分間、工場や事業所を隅々まで清掃しています。また、書類やデータの整理整頓も徹底的に行っています。

「毎日」、そして「必ず」行うことが大切で、時間を決め、計画を立てて、隅々まで行うことで、安全や品質についての問題を未然に食い止めたり、歩留まりの向上や生産効率のアップという効果もあります。それと同時に、社員の仕事に対する意識も高まっています。

環境整備は社内でも習慣として定着しています。不十分な部分を改善しながら、今後も地道に継続していきます。

今後の目標について

当社の企業理念「尽道楽生（じんどうらくしょう）」は、2代目社長の糟谷圭増の造語で、1990年から当社の基本理念の1つとしています。「たくさんの道から自分たちの進む道を模索しながら、できること、すべきことをし尽くすことで、お客様や社員、みんなが安心して楽しく生きていくことが

できるようにしよう」という意味があります。

60年の歴史を通じて、化学・医薬・食品会社など、多くのお客様と継続的に取引させていただいていることが当社の大きな財産です。その財産を大切にしつつ、もっと多くのお客様のお役に立てるようになります。

具体的には、ファイバードラムに関しては製品開発力を上げていくとともに、お客様の厳しい品質要求に応え、納期の更なる短縮に挑戦します。また、ファイバードラム以外の産業用包装資材の売上比率も増えてきています。ファイバードラムに限らず、お客様の用途に応じて最適なものを選択し、ご提案できるように努めます。そして、産業用包装資材の分野では、「太陽シールパックに相談すれば必ず何とかしてくれる」と信頼していただけるようになることが目標です。

2016年は本社・和歌山工場を新設・移転し、当社にとって大きな区切りとなる年でした。これを弾みに、2017年は、よりお客様に安心してお付き合いいただける会社になっていきたいと考えています。

貴重なお話、ありがとうございました。



同社技術への高い評価